

県木(クス)
県内では「川古(武雄市若木)」のクスが一番大きく、根まわり33m、樹齢は3000年をこえると推定されます。(昭和41年9月指定)



県鳥(カササギ)
「カチガラス」とも呼ばれ、佐賀平野を中心に生息しています。大正12年には天然記念物に指定され、保護鳥となっています。(昭和40年5月指定)



県花(クスの花)
クスの花は5月に咲き、直径が3~4mmで、愛らしい白ないし淡黄色をしています。(昭和29年3月指定)

2025年度版 県政ガイド
佐賀さいこうビジョン2025

佐賀県 佐賀県 広報広聴課
☎ 0952-25-7351
✉ kouhou-kouchou@pref.saga.lg.jp
©2025 Saga Prefecture.

佐賀県の情報はこちらから発信中

佐賀県ホームページ

令和7年度当初予算

YouTube

TikTok

X

2025年度版 県政ガイド

県道 2025 佐賀

佐賀さいこうビジョン2025

佐賀県

人を大切に、世界に誇る佐賀へ向かって

歴史を動かした唯一無二の地、佐賀県。

佐賀には先人たちが積み上げ、磨き上げてきた、世界に誇るべき「本物」があります。文化、伝統、自然、食。この宝がさらに輝きを増すように、一人一人がそれぞれ輝けるように、佐賀県は新たなチャレンジを続けてきました。

昨年のSAGA2024国スポ・全障スポでは、スポーツのチカラを活かした新しい地域の姿を日本中に示しました。「SSP構想」のさらなる推進、佐賀県立大学(仮称)の開設や山の博覧会(仮称)など、中長期的な取り組みは着実に進んでいます。

今年度も、吉野ヶ里歴史公園が歴史的価値を届ける体験型施設への進化や、世界初の施設「世界海洋プラスチックプランニングセンター」の整備など、時代を見据えた、佐賀だからできる取り組みが目白押しです。

これからも、生み出される政策が県民の皆さんに届き、幸せに前を向いて楽しく暮らしていける新しい佐賀の姿(ビジョン)を描いていきます。

この冊子から佐賀さいこうの現在地を感じ取ってもらえると嬉しく思います。

世界に誇る佐賀に向けて、さが新時代をともに創っていきましょう！

よしのり
佐賀県知事 山口 祥義



CONTENTS — 目次 —

令和7年度県の主な取り組みの紹介

創ろう！

佐賀らしい文化の創造 P3

スポーツ新時代の創出 P5

育もう！

かわりあう子育て 笑顔あふれる未来 P7

志そう！

志を胸に 骨太な人材の育成 P9

守ろう！

くらしと環境を守り 住みよいまちづくり P11

支えよう！

支え合い、寄り添う やさしい地域 P13

輝こう！

地域の想いを大切に 本物の価値を磨く P15

挑もう！

新たな価値を生み 挑戦を続ける産業 P17

交わろう！

動き出す 人とモノをつなぐネットワーク P21

政策推進の視点



さがすたいる
さがらしい、やさしさのカタチ

多様な人々が交流し相互理解を深めることにより、年齢、性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、みんながしげんに支え合い、心地よく過ごせるやさしさのカタチを広めていきます。



さがデザイン
さがをみがくしくみ

行政にデザインの視点を取り入れ、「見た目をよくすること」だけではなく、地域や事業等が抱える課題を的確に捉えて解決に導くなど、施策を総合的にデザインしています。

県政運営のキーワード

現場

現場の人の想いが実現され、人が現場で輝いていること

ミッション

本来の目的を忘れることなく、何のためにやっているのかという目的意識を常に持って行動すること

プロセス

政策や事業を決定していく場合、県民の声を聴き、そして県民と議論を重ねることで信頼関係をつくること

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

佐賀らしい文化の創造

創ろう
1
2025

江藤新平復権から佐賀愛を醸成



昨年の江藤新平没後150年を機にスタートした「江藤新平復権プロジェクト」をさらに発展させるとともに、佐賀戦争などの研究を推進する「佐賀復権推進事業」を進めています。

今年5月からは、江藤新平復権プロジェクト応援寄附金(ふるさと納税)の募集を開始し、江藤新平復権宣言記念碑の建立や、現代につながる国の骨格を創った功績とその「志」を未来に継承するための事業に活用予定です。

また、佐賀戦争やその後の佐賀県の廃止・再設置の真相に迫る体系的な研究を行い、その成果も発信します。佐賀への大きな誇りと愛着を未来へと紡いでいきます。

【問】文化課佐賀復権推進チーム ☎ 0952-25-7236 ✉ culture_art@pref.saga.lg.jp

応援寄附金
募集サイト



創ろう
3
2025

肥前名護屋城を文化観光の拠点に



名護屋城大茶会

約430年前、豊臣秀吉や徳川家康など、全国から150を超える武将が集結した城郭の遺跡群「名護屋城跡並びに陣跡」。そこには人口20万人超の実質的な首都機能を備えた世界最大規模の都市が築かれ、茶の湯や能などの日本文化発展の“はじまりの地”となりました。

大好評の「黄金の茶室」と「草庵茶室」での呈茶体験ができるほか、今年は、全国のお城ファン必見の「出張!お城EXPO」を誘致。名護屋城大茶会と同時開催し、名護屋城を拠点にした文化ツーリズムを創造します。

【問】文化課 ☎ 0952-25-7236
✉ culture_art@pref.saga.lg.jp



ホームページ

創ろう
2
2025

佐賀城本丸御殿「奥」の解明へ!

佐賀城本丸御殿は、10代藩主・鍋島直正が政務や日常生活で過ごした佐賀城の中心的な建物です。なかでも、これまで詳細が未解明であった藩主のプライベート空間「奥」や庭園の実態を明らかにすべく、今年度から発掘調査を進めます。

新たな調査成果を広く発信し、藩主の暮らしを紹介するトークショーや参加型イベントの開催、さらには佐賀城を紹介する映像などを制作します。

これらを通じて、佐賀城本丸御殿「奥」エリアへの注目をさらに高めていきます。

【問】佐賀城本丸歴史館
☎ 0952-41-7550
✉ rekishikan@pref.saga.lg.jp



ホームページ



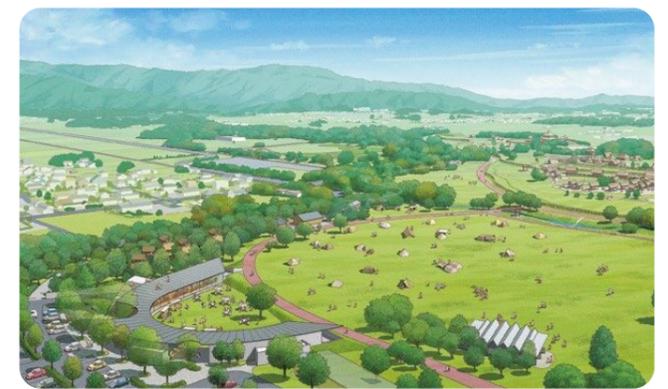
佐賀城本丸御殿「御座間」古写真
所蔵：佐賀市立赤松小学校／佐賀県立佐賀城本丸歴史館寄託

創ろう
4
2025

吉野ヶ里歴史公園が「歴史を体験する公園」としてさらに進化します

吉野ヶ里歴史公園では、遺跡の持つ価値を高め、広げ、後世につないでいくため、歴史ロマンあふれる心地よい公園づくりを続けています。

これからは吉野ヶ里遺跡の「本物」の価値を活かし、歴史と自然を体験できる場に進化します。新たにレストランやカフェ、キャンプ場、宿泊施設などを整えるとともに、石棺墓石蓋せつがんぼいしふたの展示や甕棺墓かめかんぼを体験できる模型などのコンテンツも登場します。神崎市や吉野ヶ里町と連携し、地域全体で盛り上げます。



吉野ヶ里歴史公園西口エリア整備イメージ

【問】まちづくり課 ☎ 0952-25-7159
✉ machizukuri@pref.saga.lg.jp
文化課文化財保護・活用室 ☎ 0952-25-7233
✉ bunkazaihogo@pref.saga.lg.jp
さが政策推進チーム ☎ 0952-25-7360
✉ kikakuteam@pref.saga.lg.jp



ホームページ

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

スポーツ新時代の創出

創ろう
5
2025

SAGAスポーツピラミッド構想推進条例を制定しました

佐賀から世界に挑戦するアスリートを育成し、スポーツ文化(する・観る・支える・育てる・稼ぐ)の裾野拡大を目指すSSP構想をさらに推進するため、「SAGAスポーツピラミッド構想推進条例」を今年3月に制定しました。スポーツ医科学などの先駆的な取り組みやスポーツの在り方や効果を探求することなどを盛り込んだ唯一無二の条例です。

SSP構想のもと、新しいスポーツシーンを切り拓き、スポーツの力を活かした人づくり、地域づくりを進めていきます。

【問】SAGAスポーツピラミッド推進チーム
☎ 0952-25-7345 ✉ ssp-t@pref.saga.lg.jp



ホームページ



創ろう
6
2025

SSP Batons ～ボクたちがつくる部活のカタチ～

SAGA2024国スポ・全障スポでは、高校生がアスリートとして「する」だけでなく、式典でのパフォーマンスやアナウンス、会場での応援、選手のサポートなど「観る」「支える」側としても活躍しました。この活動を後輩へつなげるため、運動部だけでなくスポーツを支える文化部も含めた高校の部活動に必要な備品購入を支援し、多様なスタイルでスポーツに関わる文化の定着を図ります。

備品は高校生が主体となって選定することとしており、自分たちで考えて決める過程でさまざまな効果が生まれ、成長につながることを期待しています。

【問】SAGAスポーツピラミッド推進チーム
☎ 0952-25-7624 ✉ ssp-t@pref.saga.lg.jp



創ろう
7
2025

プロスポーツチームを応援しよう

多くのプロスポーツチームがトップリーグで活躍する佐賀県では、プロスポーツチームを間近で応援することができます。この環境を活かし、子どもたちと選手たちとの交流や試合を観戦する機会を作るなどの取り組みを進めます。

今年3月にはモデル事業として、佐賀市と唐津市にバスケットボールコートを整備しました。県民が身近な場所でスポーツに親しみ、それぞれの関わり方でプロスポーツチームを応援してもらえるよう、各チームと連携して取り組んでいきます。

【問】スポーツムーブメントチーム ☎ 0952-25-7526
✉ sports-movement@pref.saga.lg.jp



県内のトップレベル
スポーツリンク集



サガン鳥栖OBから
子どもたちへ
夢や目標を持つことの
大切さを伝える
出前講座



佐賀バレーナースの選手が
子どもたちとSSP COURTで交流

(©SGBL)

創ろう
8
2025

スポーツ医科学支援をより身近に

SAGA2024で選手控室などに使用していたSAGAサンライズパークの中央管理棟をリノベーションします。1階は、セカスタ(第2競技場)やボールフィールド、ランニングループなどの利用者向けの更衣室やシャワールームを整備し、2～3階は、アスリートがスポーツ医科学のサポートを受けられるフロアに改修予定です。

これまで西九州大学や医師会などと連携し、スポーツ医科学支援に取り組んできました。改修後は、SAGAサンライズパークでもサポートが受けられるようになり、アスリートにとってスポーツ医科学がより身近なものとなります。

【問】コンベンションチーム ☎ 0952-25-7482
✉ convention-t@pref.saga.lg.jp



中央管理棟完成イメージ

2024-25Vリーグレギュラーシーズンを
上位で通過し、チャンピオンシップを
SAGAアリーナで開催した
SAGA久光スプリングス



(©SAGA久光スプリングス株式会社)



人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

かかわりあう子育て 笑顔あふれる未来

子育て支援
「さが」



佐賀県子育て
応援キャラクター
さがっぴい

育もう
1
2025

保育の仕事の素晴らしさを発信

保育は、佐賀の未来を支える子どもたちに寄り添い、愛情を注ぎ、支え、成長の喜びを分かち合える、とても尊い仕事です。そんな保育者になりたいという夢を多くの人が抱くにもかかわらず、現場では人手不足に悩まされています。

夢を形にする取り組みが不可欠な今こそ、若者や保護者の皆さんにもっと「ほいくのチカラ」を感じていただけるよう、保育フェスやお仕事体験などのイベントを開催します。漫画や動画も活用し、保育の現場で働く皆さんや学生たちと一緒に保育の素晴らしさを発信します。

[問] こども未来課 ☎ 0952-25-7382
✉ hoikuyouchien@pref.saga.lg.jp



ホームページ



先生、もう一回
よんで〜!

育もう
2
2025

男性の育休取得をあたりに

事業主による男性育休応援宣言

男性社員の14日
以上の育児休業取得
100%を目指します!
〇〇事業所
代表取締役 佐賀太郎



育児休業を取りたい男性は増えていますが、言い出しづらい職場の雰囲気や手取り収入が減ることへの不安が育休取得の障壁になっています。

そこで、男性従業員が育児休業を14日以上取得した県内事業所を支援する「SAGA PAPA 育休アシスト奨励金」制度を創設しました。事業主には男性従業員に育児休業を14日以上取得させることを宣言してもらい、奨励金は育児休業を取得しやすい職場づくりなどに活用してもらうことで、「父親が育休を取るのはあたりまえ」という雰囲気を県内に広めていきます。

[問] 男女参画・女性の活躍推進課 ☎ 0952-25-7062
✉ danjo-katsuyaku@pref.saga.lg.jp

上司から育休を取得するパパへ
育児応援メッセージを贈呈



育もう
3
2025

こどもの居場所づくりを後押しします

「こどもの居場所」は、子どもたち誰もが安心して集える「止まり木」のような場所です。

支援のかたちも過ごし方もさまざま。例えば、フードバンクや支援者からの寄附で集まった食材を活用し、温かい食事を提供したり、地域の信頼できる大人たちが見守る中で、自由に学び、遊ぶこともできます。

これからも「こどもの居場所」づくりを後押しし、地域の皆さんと一緒に、子どもたちの笑顔を守り、骨太な育ちを支えていきます。

[問] こども家庭課 ☎ 0952-25-7567
✉ kodomo-katei@pref.saga.lg.jp



ホームページ



みんなだよ!
全員集合



芝生のチクチク
おもしろいね



「ぼくが焼きます!」
みんなのパンケーキ



人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

志を胸に 骨太な人材の育成

志そう
1
2025

佐賀県立大学(仮称) プロジェクト

未来の佐賀県をつくるには、時代の変化を捉え、起業家精神で果敢にチャレンジし、周囲に変革をもたらす人材「チェンジ・メーカー」を地域で育むことが必要です。しかし近年は、約3,000人もの若者が大学進学を機に県外流出しています。

県立大学の開学により、高校生の進路の選択肢が増え、将来の人材確保にもつながります。さらに、大学間や企業との連携強化によるイノベーション効果も期待できます。

令和11年4月の開学を目指し、佐賀県立大学(仮称)が新しい時代を切り開く礎となるよう、引き続き検討を進めていきます。

[問] さが政策推進チーム ☎ 0952-25-7494
✉ kendaiteam@pref.saga.lg.jp



ホームページ



志そう
2
2025

「チーム学校」で 子どもたちをサポートします

子どもたちが抱えるさまざまな不安や悩みに対応できるよう、今年度から教育相談体制の強化を図っています。すべての公立学校向けに講義やワークショップを中心とした研修会を実施するとともに、対応のポイントをまとめた教職員向けの手引きを作成・配布しています。

合言葉は「チーム学校」。学校関係者が一丸となり、関係機関との連携を図ることで、子どもたちがいつでも気軽に相談でき、安心して学べる学校「さがすたいるスクール」の実現を目指します。

[問] 学校教育課生徒支援室 ☎ 0952-25-7222 ✉ gakkoukyouiku@pref.saga.lg.jp



志そう
3
2025

唐津青翔高校TSUNAGARUプロジェクト

唐津青翔高校では、県内外から多くの生徒が入学し、「未来」「世界」「地域」とつながりながら学び合うことにより、新しい価値をつくり出す実践的人材を育成することを目的に、「唐津青翔高校TSUNAGARUプロジェクト」に取り組んでいます。

令和8年度からは、全日制公立高校で全国初の「eスポーツ学科」で、ゲーミングなど、eスポーツについて幅広く学ぶことができます。

また、総合学科の系列見直しや特別教室棟のリノベーションを行い、玄海の自然に触れることができる水族館などを整備し、より実践的・体験的な学びを実現します。

県外から入学する生徒も安心して生活し、地域の方々と交流できるような交流拠点(寮)も整備します。(令和9年度から運用開始)

これからも特色のある学びを実践し、全国からの生徒募集を推進していきます。

[問] 教育振興課 ☎ 0952-25-7424
✉ kyouiku-shinkou@pref.saga.lg.jp



ホームページ



eスポーツを
学ぶ生徒



志そう
4
2025

中学校の教育環境が さらに充実します

県内の小学校では国に先駆け、35人以下で構成された「少人数学級」を導入してきました。

今年度からは中学校にも拡大しています。

1年生では、「少人数学級」を実施し、一人一人の成長をサポートしています。2年生では、学校の実情に応じ、「少人数学級」または2人以上の教師が協力して1つの学級を指導する「チームティーチング」の選択制としています。

生徒に寄り添い、多様な学びをサポートする豊かな教育環境で、子どもの夢や目標の実現を応援します。

[問] 教職員課 ☎ 0952-25-7212
✉ kyoushokuin@pref.saga.lg.jp



志そう
5
2025

医療の明るい未来を育てる

若手医師の育成・定着を図る「SAGA Doctor-Sプロジェクト」の一環として、今年度から海外留学に向けた語学対策や海外体験を組み込んだ「SAGA臨床研修グローバルコース」を開設しました。

また、将来県内で働く看護職者を増やすため、若い世代に看護の楽しさややりがいを発信します。小・中学生向けの看護の仕事体験会や看護学生と県内の看護師の交流会、県内医療機関の合同就職説明会を開催し、看護人材の確保・定着を後押しします。

[問] 医療人材政策室 ☎ 0952-25-7358
✉ imu@pref.saga.lg.jp



守ろう!

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

くらしと環境を守り 住みよいまちづくり

1 2025 海洋プラスチック問題の 解決を目指す

唐津・玄海エリアを含む九州北部の海岸は、海流や狭い海峡、冬の季節風などの自然条件から、日本最大級の海洋プラスチック漂着地といわれています。生態系のほか、漁業や観光などへの影響も出ており、世界の海を取り戻すための対策が必要です。

そこで、海洋プラスチック問題に関する情報を国内外に発信し、回収から分別、再生について体験を通して学べる「世界海洋プラスチックプランニングセンター(愛称: プラプラ PLA PLA)」を、波戸岬エリアに整備します。一人一人の行動から海洋プラスチック問題の解決を目指す世界初の施設にご期待ください。

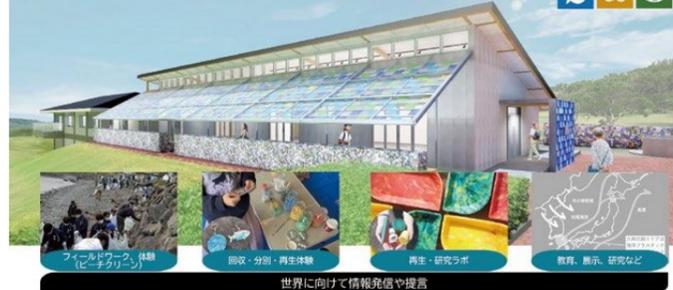
【問】 脱炭素社会推進課 ☎ 0952-25-7079
✉ datsutansosuishin@pref.saga.lg.jp



ホームページ

令和8年オープン予定

海洋プラスチック専門の教育・体験・交流施設



2 2025 佐賀の豊かな 自然環境を未来へ

山は平野部の暮らしを支え、海に恩恵をもたらす源流です。県民の生命や暮らしを守る礎でもある山を未来に引き継ぐためには、山を大切にすること、森・川・海の自然のつながりを守ることが重要です。

そこで、「森川海はひとつ」をスローガンに、豊かな自然環境を人が未来につなげる「森川海人プロジェクト」を実施。「森川海人っフェス!」、「森川海人っサミット」、「SAGA森川海人っキャンプ」といった学習や体験の場をつくり、環境保全に関する意識を高め、日々の行動を見直すきっかけにつなげます。

【問】 森林整備課 ☎ 0952-25-7136
✉ shinrinseibi@pref.saga.lg.jp



森川海人っフェス!



森川海人っサミット

3 2025 7さいめせんのこうつうあんぜん

歩行中の交通事故死傷者数は、7歳が突出している現状を受け、新たな取り組み「7さいめせんのこうつうあんぜん」を始めます。大人と子どもで異なる目線や行動特性を考慮しながら、道路の点検・対策を行い、誰もが安心して歩くことができる環境づくりを目指します。

今年度は、モデル地区を点検し、専門家の知見に加え、子どもの声も取り入れた点検・対策マニュアルを作成します。

交通事故ゼロを目指して、地域とともに、安全・安心なまちづくりを進めていきます。

【問】 道路課 道路安全推進室 ☎ 0952-25-7156
✉ douro@pref.saga.lg.jp



ホームページ Instagram

4 2025 ニセ電話詐欺ゼロを目指して

県内において、今年6月末時点で認知しているニセ電話詐欺は、138件です。被害額は約8億9,793万円にもなっており、危機的な状況です。特に今年は、警察官をかたって電話やビデオ通話をかけ、金銭を要求する詐欺が非常に多く発生しています。

県警では詐欺の手口や特徴についてSNSやメディアなどを活用した広報活動や、県民を対象とした啓発活動を行っています。

佐賀を詐欺から守り、被害を未然に防ぐことで、安全安心な暮らしの実現を目指します。

【問】 警察本部 生活安全企画課 ☎ 0952-24-1111(代表)



ホームページ



佐賀県 佐賀県警察

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

支え合い、寄り添う やさしい地域

支えよう
1
2025

佐賀らしい、やさしさのカタチ「さがすたいる」



さがすたいる
さがらしい、やさしさのカタチ



ホームページ

お年寄りや障がいのある方、子育て・妊娠中の方など、みんながしぜんに支え合い、心地よく過ごせる佐賀らしいやさしさのカタチ「さがすたいる」を広めています。

今年度は、子どもたちへ「さがすたいる」の想いを伝えるため、これまで実施してきた学校向けの出前講座に加え、自分にできるやさしさのカタチを考え、行動できるきっかけとなるような小学生向けの教材を作成します。

多くの子どもたちと「さがすたいる」の想いを共有し、誰もが心地よく過ごせる佐賀らしいやさしい社会の実現を目指します。



【問】県民協働課 ☎ 0952-25-7068 ✉ kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp

支えよう
2
2025

多文化共生の地域づくり

県内に住む外国人も、地域を支える大切な仲間です。だからこそ、日本人と外国人が、相互に理解し合える交流の場づくりに力を入れています。

地域の人と交流しながら日本語を学ぶ「地域日本語教室」や意見を交わす「タウンミーティング」、さらには言葉の壁を越えて楽しむ「佐賀さいこう!国際運動会」などを開催し、交流の輪を広げています。外国人の困りごとは「さが多文化共生センター」で相談を受け、サポートしています。

日本人も外国人もともに活躍できる佐賀県をつくります。

【問】多文化共生さが推進課 ☎ 0952-25-7328 ✉ tabunkasagasuishin@pref.saga.lg.jp



さが多文化共生センター
ホームページ



ミャンマー語を
教えてもらう中学生



佐賀さいこう!
国際運動会



地域日本語教室

支えよう
3
2025

フェムケアから考える職場づくり

生理痛や更年期症状といった女性の健康課題への理解が深まり、誰もがモチベーション高く働ける職場が広がるよう、県内企業の経営者向けのイベント「フェムケアSAGA」を開催しています。

また、フェムテックなどを活用しながら女性の健康課題の解決に取り組むモデル企業をサポートし、各企業の参考となるよう成功事例を発信していきます。

女性が働きやすくなることで、男性の働きやすさも向上します。フェムケアを通して誰もが思いやり、支え合える、やさしい佐賀県を目指します。

【問】男女参画・女性の活躍推進課 ☎ 0952-25-7062 ✉ danjo-katsuyaku@pref.saga.lg.jp

フェムケア | 特定のテクノロジーに依存せず、さまざまな方法で女性の健康課題をケアする製品・サービス

フェムテック | Female(女性)とTechnology(技術)をかけた造語で、女性の健康課題をテクノロジーの力で解決する製品・サービス



生理痛体験コーナー



経営者層向けのパネルディスカッション

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

地域の想いを大切に 本物の価値を磨く

輝こう
1
2025

唐津をマリンアクティビティのメッカに!

唐津・玄海エリアでは、誰もがマリンアクティビティを楽しめるエリアづくりを進めています。

SUPやシーカヤックなどを体験できるほか、拠点となる唐津西の浜では、若者やファミリー層などにぎわう夏のビーチイベント「Grand Blue」も開催しています。令和8年度には、唐津城や虹の松原など唐津の絶景を空から楽しめるパラセーリングを導入し、地域をさらに盛り上げていきます。

【問】さが政策推進チーム ☎ 0952-25-7230 ✉ migaki@pref.saga.lg.jp



ホームページ



ビーチイベント



SUP体験

輝こう
2
2025

鹿島・太良でスローな旅を楽しもう

鹿島・太良地域は、国内外の人を惹きつける素晴らしい地域資源にあふれています。この価値をゆっくり、じっくりと楽しめる「スローツーリズム」を推進するため、鹿島・太良地域が一体となって地域づくりに取り組んでいます。

今年度は、肥前鹿島駅と周辺エリアの整備工事に着手します。「non-station」をコンセプトに、鉄道やバスに乗るための駅から、周辺の観光地や宿泊施設も含めた世界に新しい旅を提案するフロントへと生まれ変わります。

何度でも訪れたい愛おしい地域を、地域の皆さんとともに創り出していきます。

【問】さが政策推進チーム ☎ 0952-25-7360 ✉ kikakuteam@pref.saga.lg.jp

輝こう
3
2025

「山」の価値を未来につなぐ



山を大切に思う多様な人が集い、山と地域の未来を考える「山の会議(仮)」を令和2年度から開催しています。「山の会議(仮)」をきっかけに人と人がつながり、自ら主体的に地域を楽しく、心地よくする「自発の地域づくり」の新たな取り組みが県内各地で広がっています。

これからも自発の取り組みを重ねられ、未来に向かい山を大切に作る輪が広がるよう推進していきます。

【問】さが創生推進課 ☎ 0952-25-7376 ✉ sagasousei@pref.saga.lg.jp



ホームページ



山の会議(仮)@フェス・交流会



新しい肥前鹿島駅のイメージ



人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

新たな価値を生み 挑戦を続ける産業

挑もう
1
2025

県内企業の人材確保・定着を後押し

県内企業の人材不足解消に向けて、奨学金返還支援制度の導入促進や外国人材の雇用支援など、さまざまな角度から産業人材の確保・定着に取り組んでいます。

また、高校生や大学生、保護者向けの県内企業合同説明会や企業との交流会を開催しています。さらに、小中学生向けにものづくりのすばらしさを体験してもらう「ものスゴフェスタ」や理系的発想を育む「キミノミチ発見ラボ」など、未来の産業人材の育成も進めています。

これらに加えて賃金アップに取り組む企業をサポートし、経済の好循環を生み出していきます。

[問] 産業人材課 ☎ 0952-25-7310 ✉ sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp



SAGA x Out of KidZania 2025 イメージ



県内企業合同説明会



外国人雇用マッチングイベント

挑もう
3
2025

企業・起業家の力を最大限に!



DXとスタートアップをテーマに、企業・起業家の成長を支援しています。佐賀県は昨年度に、「日本DX大賞」で特別賞を受賞しました。また、県の支援プログラムを受けた10社が「J-Startup KYUSHU」や「九州ニュービジネス大賞」などで有望なスタートアップ企業に選ばれました。

今年度は、プログラミング人材育成講座や起業家の成長段階に応じた個別支援プログラムに加え、生成AIの活用をはじめとした企業のDX推進やビジネスプランコンテストを開催し、多様な挑戦を後押しします。今後も企業・起業家ファーストの姿勢で、佐賀から全国、そして世界を目指す企業・起業家を応援します。

[問] 公益財団法人佐賀県産業振興機構さが産業ミライ創造ベース(RYO-FU BASE)
☎ 0952-25-8822 ✉ info@ryofubase.jp



ホームページ



起業支援イベント



プログラミング講座

挑もう
2
2025

食文化・伝統産業の価値を発信

佐賀の食文化の素晴らしさを伝えるため、県内のラーメンの歴史やオリジナリティを再発掘する「飲食産業ブランド化プロジェクト」や、「神埼そうめん」の新たな価値創出を目指す「佐賀型伝統産業進化実証プロジェクト」を進めています。

伝統工芸品は、販路拡大を目指して海外でテストマーケティングを実施しています。また、開窯350周年を迎える鍋島焼は、大阪・関西万博と佐賀県立美術館で巡回展を開き、さらなる飛躍を目指します。

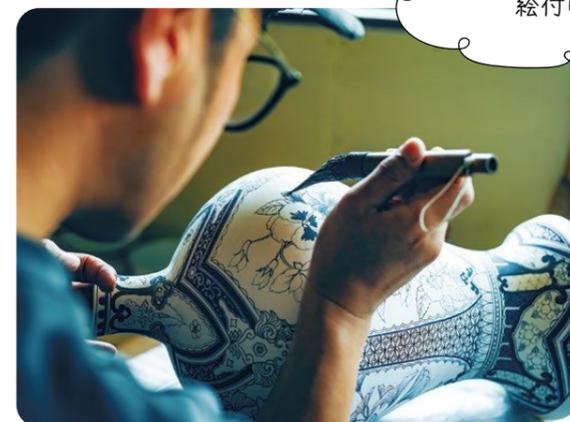
加えて、佐賀が誇るお土産を発信する「S-1アワード」を開催し、お土産品の販売促進を図ります。

[問] 産業政策課 ☎ 0952-25-7182 ✉ sangyouseisaku@pref.saga.lg.jp
伝統産業支援室 ☎ 0952-25-7095 ✉ ryuutsuu-boueki@pref.saga.lg.jp

S-1アワード | Saga Saiko Souvenir (お土産)の頭文字



S-1アワード
ホームページ



鍋島焼(献上瓶子)の
絵付け



台湾陶磁器テストマーケティング

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

新たな価値を生み 挑戦を続ける産業

挑もう
4
2025

コスメ構想の進化と裾野拡大を目指します

唐津・玄海エリアを中心に県内全域へと広がっているコスメティック構想。自然豊かな佐賀県産の素材を活用した、多くの化粧品が生まれています。

国内の化粧品生産額が微減する中で、県内の生産額は2倍以上にも増加し、成長産業として期待されています。

これからも、佐賀大学のコスメティックサイエンス学環(仮称)や世界各国のコスメ産業と強固なつながりを持つジャパン・コスメティックセンターと連携を深めながら、異業種ともコラボし、佐賀からコスメ産業のイノベーションを巻き起こします。

【問】コスメティック産業推進室 ☎ 0952-25-7397
✉ monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp



ホームページ

海外展示会へ
出展



SAGAコスメ



唐津コスメパーク



SAGAn BEAUTY WEEKEND



挑もう
5
2025

活気あふれる産地を目指して



農家の所得向上と産地拡大のため、令和元年度から農家や市町・関係団体が一体となって「さが園芸888運動」を展開しています。

キュウリやイチゴなどの施設園芸では、トレーニングファームの修了生やトレーナーのもとで研修を受けた就農希望者が園芸団地に就農するなど、研修から就農まで一貫して担い手が確保・育成される仕組みが広がっています。

今後は、タマネギなど露地園芸でもこのノウハウを生かした担い手の確保・育成に取り組み、さらなる産地の拡大に向けて果敢にチャレンジします。

【問】園芸農産課 ☎ 0952-25-7114 ✉ engeinousan@pref.saga.lg.jp
農業経営課 ☎ 0952-25-7118 ✉ nougyoukeiei@pref.saga.lg.jp



ホームページ

トレーニングファーム
就農希望者が実践的な栽培技術や経営ノウハウを習得するための研修農場。

トレーナー
就農希望者に対して、栽培技術や経営ノウハウなどを指導する農家。

園芸団地
規模拡大や新規就農希望者の受け皿となる、まとまった農地。



研修の様子



挑もう
6
2025

玄海エリアの 海業推進と漁業改善

玄海エリアの漁業の価値と可能性をさらに進化させるため、海や漁村の地域資源を活用し、にぎわいや所得と雇用を生み出す「海業」の発展を推進します。海業コンテンツを掘り起こし、漁業体験、唐津ん魚認定店によるご当地グルメの発信、魚料理体験、宿泊体験など、玄海エリアならではの海業推進を目指します。

また、海水温上昇などによる厳しい状況にも対策が必要です。複合的な漁業経営やスマート技術などによる効率化を図り、漁業者と一緒に、気候変動に対応した漁業の改善に取り組みます。

【問】水産課 ☎ 0952-25-7144 ✉ suisan@pref.saga.lg.jp



唐津ん魚



ご当地グルメ



イカ釣り

人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり

動き出す 人とモノをつなぐネットワーク

交わろう
1
2025

持続可能な地域交通を目指して

地域交通は、日常生活を支えるだけでなく、観光客や来訪者との交流を促すなど、地域づくりの重要な基盤です。

地域交通の未来を見据え「利用の促進」、「運行の効率化」、「運転士の確保」の3つの柱で取り組んでいます。今年度は鉄道やバス、地域交通ネットワーク全体で、利用促進や運行の効率化を図る社会実験を検討しています。

地域の実情やニーズを把握し、地域の皆さん、交通事業者、市町などと連携しながら、地域交通システム全体が将来にわたって持続可能なものとなるよう取り組みます。

[問] 交通政策課 ☎ 0952-25-7341
地域交通システム室 ☎ 0952-25-7525
✉ koutsuuseisaku@pref.saga.lg.jp



交わろう
2
2025

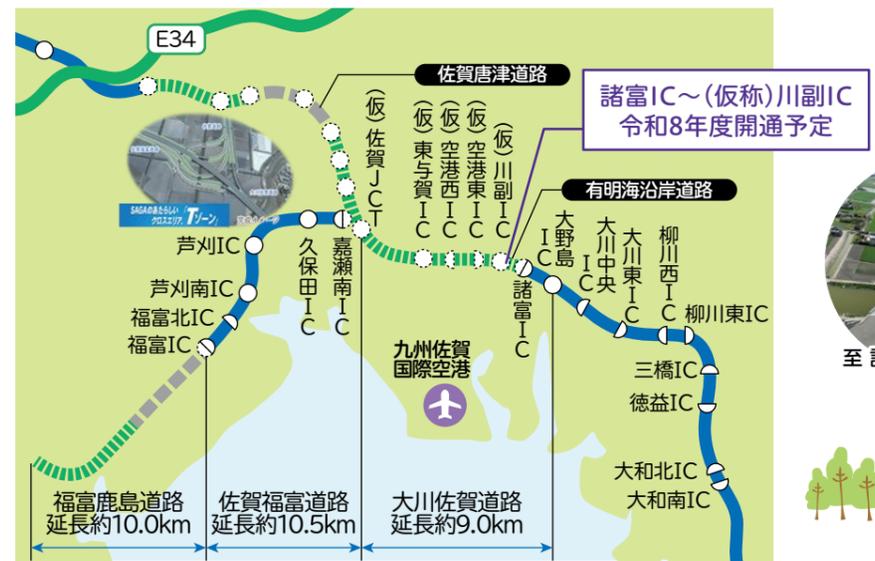
未来を拓く 幹線道路ネットワークの整備

有明海沿岸道路や佐賀唐津道路、西九州自動車道、国道498号などを基軸とした幹線道路ネットワークの整備に取り組んでいます。現在は、有明海沿岸道路と佐賀唐津道路が接続するエリア「Tゾーン」の整備を重点的に進めています。

また、有明海沿岸道路では諸富ICから川副IC(仮称)への延伸に向けた整備も着々と進んでおり、令和8年度に開通予定です。ネットワークが繋がれば、広域的なアクセスが飛躍的に向上します。

今後も幹線道路ネットワークの整備をすすめ、人やモノの交流を促進し、佐賀の未来を拓きます。

[問] 道路課 ☎ 0952-25-7155 ✉ douro@pref.saga.lg.jp



交わろう
3
2025

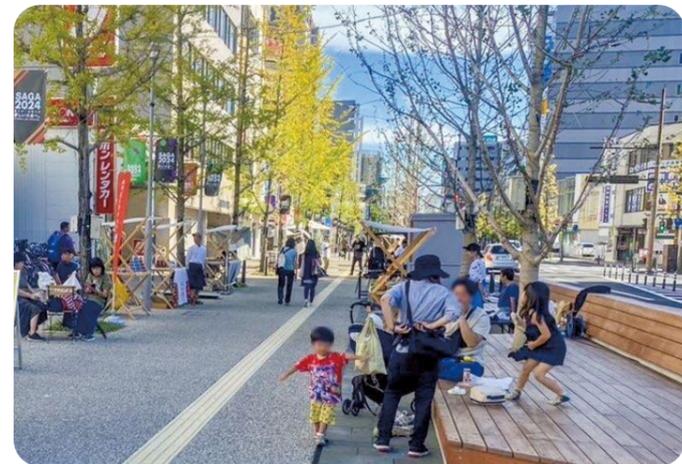
歩いて楽しい道づくり

SAGA
TOCO
歩こう。佐賀県。

JR佐賀駅から南に延びる約200mの道路を4車線から2車線に減らしたことで、広場のようにゆとりのある空間「さが維新テラス」が誕生しました。親子連れや友人同士でベンチやテラス席でゆったりとおしゃべりを楽しんだり、キッチンカーやマルシェで買い物を満喫したりと、思い思いの時間を過ごすことができます。

これからも「さが維新テラス」の可能性を広げるチャレンジを続け、「歩いて楽しい道(みち)づくり」から「まちづくり」へとつなげていきます。

[問] まちづくり課 ☎ 0952-25-7159 ✉ machizukuri@pref.saga.lg.jp



さが維新テラス

さが維新テラスの
イベント情報・
利用申込は
こちら

